

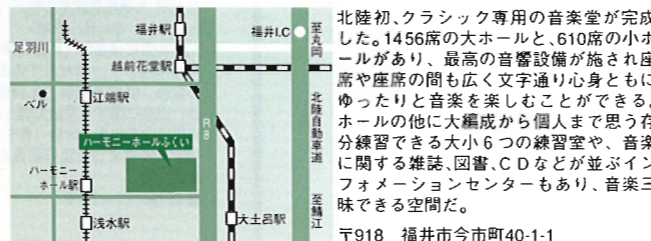
# 遊楽 彩祭

三谷市民文化振興財団ニュース



君が代の  
時に相逢いと桜  
いとも賢き  
今日の言の葉  
義景

## ハーモニーホールふくい



北陸初、クラシック専用の音楽堂が完成した。1456席の大ホールと、610席の小ホールがあり、最高の音響設備が施され座席や座席の間も広く文字通り心身ともにゆったりと音楽を楽しむことができる。ホールの他に大編成から個人まで思う存分練習できる大小6つの練習室や、音楽に関する雑誌、図書、CDなどが並ぶインフォメーションセンターもあり、音楽三昧できる空間だ。

〒918 福井市今市町40-1-1

<お問い合わせ先> (財) 福井県文化振興事業団 TEL0776-38-8288

## 財団法人 三谷市民文化振興財団

〒910 福井県福井市豊島1-3-1 三谷ビル TEL0776-20-3188 FAX0776-25-8800

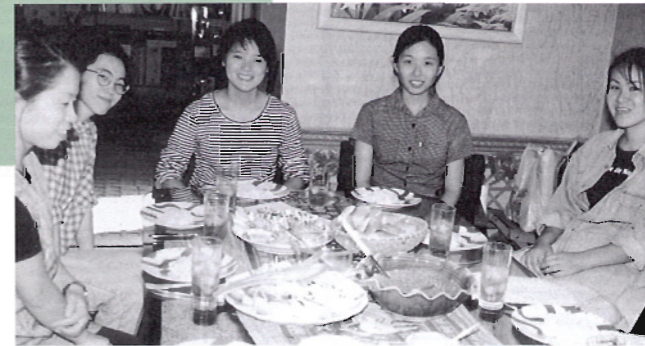
財団法人三谷市民文化振興財団は、ボランティア活動、スポーツ活動、市民文化活動の支援を目的として作られた財団です。毎年5月に助成団体を広く募集しています。この遊楽彩々(毎年回発行)は、県内で活躍する人やグループ、各地で企画されているイベントを紹介し、ボランティア活動、スポーツ活動、市民活動のネットワーク化、活性化の促進を目的としています。

1997・12月発行

このニュースに関するお問い合わせは、TEL0776-21-0029 (株)コミネットまで

## 三谷市民文化振興助成団体

様々な場面でイキイキと活動するグループを紹介します。



ブラジルから来日した企業研修生がブラジル料理を披露。10人ぐらいのメンバーが集い、料理の作り方やブラジルの話で交流をはかる。

「時間の自由になる人が才能を結集し、1つの形をつくる。」これが、ユニットにこめられた意味。2年前に結成されたこのサークルは、現在160名の登録者がある。自分の興味のある分野や、海外での経験などをプランナーズユニットに登録すると、自宅などで講座を開けるように会員に呼びかけてくれる。フランスに滞在していた主婦の、「フランス料理講座」など、3、4人という少人数でアットホームな雰囲気の中、交流をほぐくむことができる。気軽に自分の知識や経験を披露できたり、少人数制で友達になれるところが、カルチャーセンターとの違い。

「教える中で、自分自身の勉強にもなるし、自信がきます。」と、代表の中川さんは話す。「私達が目指すのは、国境、年齢、性別にとられないポータルサークル。自主的に参加し、視野を広げ、心に力のある福井人になって欲しいですね。」こうした「人材バンクシステム活動」以外にも、毎月、ガレージセールや映画談話などのイベントの開催や、隔月で英字ミニコン誌「フクイタイムス」の発行なども行っている。

お問い合わせ/福井市月見1-12-29 プランナーズユニット  
☎0776-35-6183 ☎0776-35-8068 E-mail: planners@mitene.or.jp

CULTURAL PRESS



三国町運動公園で、ゴールを目指して走る子供たち。

全国チビッコトリアスロン実行委員会は、副実行委員長を務める西出さんが、10年前日本に入ってきて間もないトリアスロン競技を「普及したい」と思ったことが結成のきっかけ。まず底辺拡大のため小学生を対象に「全国チビッコトリアスロン大会」を主催することに。毎年8月の第2日曜日に、全国各地から小学1〜6年生の子供達200人足らずが集まり、三国町運動公園で大会が開かれる。

実行委員は約80名。タイムを計ったり、コース作りをしたり、大会の全ての運営を実行委員とボランティアの方々の協力を得て行っている。トリアスロンの面白さは、1度に3つのスポーツを楽しめるところ。「どの種目に力を入れ、レースを組み立てたらいいか頭も使います。子供達は何も考えずに突っ走ってしまいがちですが、後半バテてしまふんですよ。」と語る西出さん。なかなか馴染みのうすいスポーツだけに、子供の時の体験は貴重なものとなるに違いない。

大会日のボランティアも只今募集中。

お問い合わせ/坂井郡三国町宿2-2-11「全国チビッコトリアスロン実行委員会」☎0776-35-6183 ☎0776-35-8068

心に力のある福井人を目指して

プランナーズユニット (福井市)

トリアスロンの面白さを、子供たちに

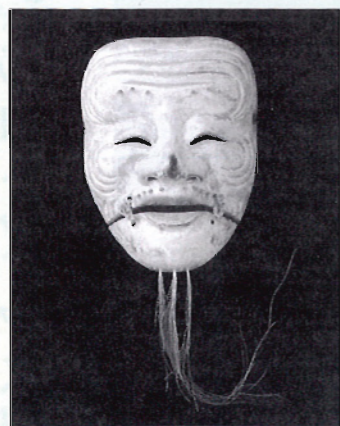
全国チビッコトリアスロン実行委員会 (坂井郡)

**第23回 水仙まつり**  
1/11(日)~2/1(日)  
越前町、河野村、越前村  
冬の越前海岸を美しく彩る水仙の花。恒例の水仙まつりでは期間中、越前水仙フェア、カフェア、ミス水仙モデル撮影会を開催。  
(問)越前町観光協会  
■0778・37・1234  
河野村観光協会  
■0778・48・2240  
越前観光協会  
■0776・89・2210

**敦賀西町の綱引き**  
1/15(木)  
敦賀市相生町西町通り  
夷子・大黒の面をかぶり古式ゆかしい装束の二人が町内を一巡した後、夷子側・大黒側に分かれて綱を引き合う。夷子側に軍配で今年は豊漁、大黒側で豊作という占い。飛び入りで参加することもできる。  
(問)敦賀市教育委員会文化課  
■0770・22・8152



**第3回 トリックアートコンペ展**  
1/18(日)~4/12(日)  
みくに文化未来館ギャラリー  
三国町では、新しいふるさと文化を創造し、遊び心にあふれた街作りの一環として、第3回トリックアートコンペ展を開催。全国公募によって寄せられた平面、立体合わせて約1,000点を展示、鑑賞できる。9:00~18:00開館。無休。  
(問)みくに文化未来館  
■0776・82・7200



**越前池田新作能面公募展**  
2/6(金)~17(火)  
能楽の里文化交流会館  
12月に公募した作品を集めた新作能面を展示。2/14には、田辺三郎助氏(町田市立博物館長)の講演会、観世茶夫氏(観世流能楽師)による能楽鑑賞会を開催。また、2/15に、池田町水海にて田楽の舞が開かれる。  
(問)能楽の里文化交流会館内「越前池田能楽鑑賞」事務局  
■0778・44・7000



**第3回 冬のマーチングバンドフェスティバルビートセッション'98**  
2/8(日)  
福井県民会館大ホール  
基本動作の技術や正確さを競うコンペーション部門と楽器や手具を用いて演奏、演技を行うフリースタイル部門の2部門がある。10:00開場、10:30開演。  
(問)福井県民会館  
■0776・23・8400

**たけふ冬遊まつり**  
2/8(日)  
武生市中央公園・武生市体育館  
市政50周年を記念したダイナミックな人文字、各種団体の趣向を凝らしたブース出店のほか、みんなでオリンピック、屋台と盛りだくさん。家族みんなで楽しもう。10:00~16:00。  
(問)たけふ冬遊まつり実行委員会  
■0778・23・2020

**新雪ふれあいフェスティバル**  
2/11(水)(予定)  
旧織田小学校校庭  
豚汁、お餅、雪だるまペイントを開催。そのほか、かまくら作り、町内職場対抗のサッカーPK合戦など一気にかき飛びそう。11:00~15:00。  
(問)織田町観光協会  
■0778・36・1111

**'98六呂師高原雪まつり**  
2/14(土)  
六呂師高原スキー場  
華やかに盛り上げられるたいまつ滑降や雪中花火、雪上もちつきなどを開催。参加者につきたてのあずきもちを無料サービス(先着順)。  
(問)六呂師高原振興会  
■0779-67-1201

**'98スノーフェスティバルinプラントピア**  
2/15(日)(予定)  
道の駅「パークイン丹生ヶ丘」・朝日町立福井総合植物園「プラントピア」雪像作りや雪中宝さがし、雪ソリ等楽しい雪遊びの他、雪中もちつき大会が開催される。  
(問)朝日町総務課  
■0778・34・1234

**勝山左義長**  
2/21(土)~22(日)  
橋の上ではやす左義長ばやし衣装した男が太鼓で浮かれる様は滑稽で、見ている人も自然と体が動きだす。サンパ風にアレンジした左義長おどりは誰でも参加できる。  
(問)勝山市商工観光課  
■0779・88・1111

**お水おくり**  
3/2(月)  
小浜市神宮寺・鶴の瀬  
若狭の人々によって、今も守り伝えら

ている壮麗な儀式。山八神事、修二会、そして、神宮寺での神事の大護摩から火をうつしたたいまつ行列が上流2kmの踏の瀬へ向かう送水神事がある。たいまつ行列は参詣者も参加できる。山八神事(10:00~)、修二会(13:00~)、送水神事(18:00~)。  
(問)小浜市観光協会  
■0770・53・1111

**福井の味スノーサイドキッチン**  
3/7(土)、8(日)、14(土)、15(日)(予定)  
スキージャム勝山  
ふくい特産ブランド品の無料配布やクイズなどのアトラクションが開催される。ブランド品料理の試食など参加特典あり。  
(問)福井県農林水産政策課流通推進室  
■0776・21・1111

**第13回 永平寺参道マラソン大会**  
3/15(日)  
曹洞宗大本山永平寺門前スタート  
参加者達に開祖道元禅師の教え、「禅の道」を体験してもらうことを目的としたマラソン大会。昔、修行僧がたどった曹洞宗大本山永平寺の旧参道を残雪を眺めながら走る。参加料 一般2,000円、中高生1,000円。参加要申し込み。  
(問)永平寺参道マラソン大会事務局  
■0776・63・4222



**第3回 西福寺宝物展**  
3/17(火)~4/19(日)(予定)  
敦賀市立博物館  
今年で第3回目を迎える、西福寺所蔵の絵画、書、工芸その他の宝物を紹介する企画展。敦賀市に数多く残る歴史上、美術工芸上貴重な文化財の中でも、特に信濃の高い文化財が豊富に揃う。月曜休館日。  
(問)敦賀市立博物館  
■0770・25・7033

**吹奏楽フェスティバル**  
3/22(日)  
ハーモニーホールふくい  
中村ユリをゲストに招いて斎藤一郎、笠松泰洋、宗貞啓二と県内吹奏楽愛好家たちによる吹奏楽の祭典。18:30開演。  
(問)ハーモニーホールふくい  
■0776・38・8288

**草や木の魔術「草木染を楽しもう」**  
4/1(水)~5/31(日)(予定)  
福井市自然史博物館  
草木染めのしくみや方法、歴史的背景などを紹介。作品の展示などを通して、草木染めの不思議さ、楽しさ、美しさを知ろう。  
(問)福井市自然史博物館  
■0776・35・2844



**越前時代行列**  
4/29(水) 福井城周辺  
音楽隊を先導に、有名俳優扮する柴田勝家公や「ミス福井」扮するお市の方を中心に総員1,200余名の武者行列が福井市中心部を練り歩く。歴史のロマンを体験できる恒例のビッグイベント。  
(問)ふくい春まつり実行委員会  
■0776・20・5346



**越前うるしの里まつり**  
5/3(日)、4(月)  
越前漆器伝統産業会館  
1500年の歴史と伝統を誇る越前漆器。実演コーナー、大漆器市、蒔絵のチャレンジコーナーなどを開催。  
(問)越前漆器協同組合  
■0778・65・0030

**第12回 九頭竜新緑まつり**  
5/23(土)、24(日)(予定)  
九頭竜国民体育地(和泉村角野)  
新緑市場にて、採れたての山菜や特産品の販売、味覚を提供。九頭竜山菜大学では、山菜に関する基礎知識などの講義と、実際に山菜採集を体験(要予約)。  
(問)九頭竜まつり実行委員会(和泉村観光課内)  
■0779・78・2111



**武生国際音楽祭'98**  
6/5(金)~6/14(日)  
武生市文化センター  
第9回を迎える武生国際音楽祭では、国内外から素晴らしい音楽家、芸術家が集結。多数のコンサートが鑑賞できる。時代を超え、国を超え感動を与えてくれる音楽を通して、地域の主体性と創造をテーマとしている。  
(問)武生市文化センター  
■0778・23・5057



●プロフィール

1948年、島根県生まれ。京都でベン・コーエンと出会い結婚。1977年、夫と共に、宮崎村に工房と居を構える。6年前に夫ベン・コーエンを亡くす。夫の意志をつぎ、陶芸家として幸災齋で制作活動をする。1998年3月、東京銀座で個展を開く。

# 冷子・コーエン

## 幸災齋

丹生郡宮崎村蛟谷寺。朝日町との境の小さな部落に冷子・コーエンは、工房と居を構える。「亡くなった夫のベンが、山と田畑に囲まれ自然豊かなこの静かな村を一目見て気に入って住むことになりました」と懐かしそうに語る。

日本の焼き物の制作に意欲を燃やし、自分の作陶の地を求めて日本中の産地を見てまわったベン・コーエン。越前、宮崎の地でひとつの古越前窯と出逢い、越前焼きの創作にかかわることになったのは20年前のこと。精力的に創作活動が続け、常に新しい風を吹き込み続けたベン・コーエンは、難病におかれ余命3年と死の宣告を受ける。冷子さんの力を信じ、ベンも、命の炎の全てを燃やすかのよう越前焼の技や知識を授け、幸災齋のものをも全身全霊を込め、昼夜を問わず教え続け、皆に惜しまれつつ6年前に亡くなった。夫の死後、悲しみと不安、淋しさが入り交じる中、冷子さんは、無我夢中、ひたすら作陶を続けていったと言。ろくろで成形した物を、手でゆがめたりして自分のイメージにあうように形を作っていく。土の力を十二分に生かし自然灰釉で焼き上げるのが幸災齋の特徴だ。文字通り自然と対話し、自然に生

かされながら作品は作りあげられていく。微妙な色合い、豊かな風合いは、見るもの使うものにやさしさ、なつかしさ、そして情熱を感じさせる。焼成には、新窯を使い、かける時間は1週間。4人交差で窯の温度の上がり具合を調整していく。「一番いい色になる千二百六十度まで調整していくために、最終段階では、薪を1本とくべるかどうか、常に頭を悩ませます。」自然の力にゆだねる中で、それぞれの作品が違った表情に焼きあがる。経験と、神業とも言える微妙さが作品に魂を吹き込んでいく。

「この6年間は、ただただがむしゃらに創り続ける毎日でした。最近、ようやく自分独自の表現が見え始めて、模索しているところですよ。辛い時だけ、きつと作品が答えを出してくれたいと思います。今は毎日毎日大切にひとつひとつ作品を集中してつくり続けることだと思えます」と凜とした中に決意がうかがえる。

今年の3月東京で行われる個展では、どのような作品を見せてくれるのだろうか。今までと少し違う冷子・コーエンの作品に出会えるのが楽しみだ。

日々の創作の中で常に新しい表現を求め続けていきたい